



松陵健児

発行日：平成29年9月1日 発行人：能代高校東京同窓会 責任者：石井喬 編集：会報誌委員会 題字：山田晃一(第42期) 印刷：株式会社毎栄



平成28年(2016年)の東京同窓会総会より、納谷嘉彦さん(第43期)のピアノ演奏の場面。ベース奏者は納谷さんと長く活動を共にしている俵山昌之さん。

平成29年度 能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】平成29年10月7日(土)

□受付 12:00～

□総会 12:20～

□講演会 13:00～

演奏会 お話と演奏「リュートと私」

櫻田亨さん(第53期)リュート奏者

□懇親会 13:30～16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

年会費は一昨年より値下げして2,000円に

【年会費】2,000円

【懇親会費】男性7,000円 女性6,000円

*お振込、または当日受付にて受領します。

*割引制度や特例があります。

【出欠】■インターネットをお使いの場合は、東京同窓会ホームページのフォームからお申し込みください。

■同封のはがきの場合は、9月29日(金)までに投函ください。

総会・懇親会の詳細は本誌6ページに掲載しています。

東京同窓会ホームページ <http://shoryokenji.web.fc2.com/>

語り尽くせぬ思い出

東京同窓会会長 第46期 石井 喬

いつも東京同窓会にご支援ご協力くださっています皆様には、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。そして、京校長先生、ご就任おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。



早いもので、私が東京同窓会の会長に就任させていただいてから、もう2年が過ぎようとしております。能代高校にまつわる思い出のキーワードといえば、樽子山や高埕、あるいは十里強歩や文化祭、球技大会といったところでしょうか。クラブ活動においては軟式野球部の全国大会優勝や硬式野球部・体操部・排球部・柔道部などの活躍が顕著でした。このように文武両道を重んじる母校ではありますが、私自身も含む46期のごく一部の生徒は、多くの先生や生徒、関係者の皆さんに多大なご迷惑をおかけし、当時の出来事に今さらながら深く反省している次第です。

そんな古くからの友人と色々な会合でお酒を酌み交わしたり、思い出話に花を咲かせたりすることも度々ですが、ふとした弾みに出てくるのが、会長職も2年目だから、そろそろ石井色が出てきてもいいんじゃない、といった話題です。

しかしながら、菅原前会長の時代に、ありとあらゆる企画制作が展開され、理念や方針も形作られてきましたから、現在の私には、それを維持することが精一杯で、想像をはるかに超越したプレッシャーでしびれております。

そんななかで、あえて挑戦できることといえば、若い世代の会員の参加を増やすことかもしれません。それには、校長先生や本校同窓会会長並びに関係者の方々のご理解とご協力が是が非でも必要であると考えております。がんばって東京同窓会をより盤石な組織にしていこうという所存に変わりはありません。

皆様、これからもますますのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

母校への思い

能代高等学校校長 第47期 京 久夫

東京同窓会の皆様には常日頃より多くのご支援ご協力をいただき心より感謝申し上げます。私は、この4月に母校に赴任いたしました。伝統ある母校での勤務に身の引き締まる思いであります。



私は昭和49年、樽子山の校舎の最後の入学生です。その年の秋に高埕の新校舎への移転が行われました。翌年には創立50周年記念式典にも生徒として参加しているはずですが、なぜか半年位だけ過ごした木造の旧校舎の悠然としたたたずまいや行事のことが懐かしく感じられます。

私の教職のスタートは、実は母校で昭和61年度から平成6年度まで、講師期間も含め9年間勤務しました。まだ新米教師の自分に何が出来たのか分かりませんが、無我夢中の9年間でした。今思い返すと悔いの残ることも多々あり、忸怩たる思いがありますが、母校で鍛えられました。

そして23年ぶりに母校での勤務です。あの頃70周年記念事業で拡大・整備された前庭は風格あるたたずまいで、60周年記念事業で植樹された陸上競技場外縁の黒松も大きく成長し松林が広がっています。また、昭和53年度の卒業記念で中庭に植樹された3本のヒマラヤシーダーは幹も太く、高さは校舎を凌駕するほどにたくましく成長していました。在職当時の生徒は保護者となり、入学式やPTA総会、部活動の親の会、大会応援などの際に、「覚えていますか？」と声をかけられることが多々あります。人との縁とは不思議なものです。その一方で感じるのは、校舎の老朽化であります。創立100周年も視野に入れながら、校舎改築に向けた気運を高めていかなければならない時期がきたと思っております。

東京同窓会の皆様には今後なお一層のご支援ご協力を仰がねばならない時がくるかと思えます。東京同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍を衷心よりご祈念申し上げます。

同窓生に市民栄誉章

能代高校同窓会副会長 第48期 泉 牧子
(旧姓矢田部)

東京同窓会、松陵健児の皆様におかれましては、日々遅くしなやかに、誇り高くお過ごしのことと存じます。僭越ながら副会長をさせていただくこととなり、紙面にてご挨拶申し上げますこととなりました。同窓会が一層の結束力をもって地域を牽引していくべく、皆様と一丸となって邁進して参りますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。



さて、地元ではビッグニュースが同窓会を大いに沸かせました。

私たちの誇るべき先輩でいらっしゃいます体操五輪金メダリストの小野喬さんと、元プロ野球阪急投手の山田久志さんが、今年度能代市が創設した「市民栄誉章」を授与されたのです。お二方の輝かしい功績は松陵健児の誇りであり、また勇気や励ましを頂ける偉業です。地元「北羽新報」の一面に輝いたお二方の笑顔に、改めて母校愛を強くしました。

記事では「喜びのスピーチ」として郷土愛と感謝が述べられておりました。その尊いおことばに、郷土愛や感謝の念が深い人間をつくり、信念を太くするのかもしれないと熱く思いました。

高岡校舎で初めての入学式を迎えた私たち48期生は、ただただ広い田んぼと、そこにそびえ立つかの母校の風景に、15歳の胸を膨らませました。私たち農業者は、そんな郷土の田園風景を次代につなげていくことを使命とっております。ヒトや容貌は変わっても、自然も花も変わることはありません。首都圏でご活躍される皆さんが帰省されたとき、ホッとくつろげ、安堵できるような風景を残していきたい…そんな思いです。

今年は低温続きのため、お米も野菜も生育が不十分で、収穫の秋が懸念されていますが、農業界で頑張るたくさんの松陵健児の方々とともに、皆さんの命となる食の現場「農業」を守り、つなげていくことをお約束して、ご挨拶とさせていただきます。

NEWS

小野喬さん、文化功労者に

小野喬さん(第20期)がスポーツの普及・発展に貢献したことにより、平成28年度の文化功労者に選ばれました。小野さんは同年10月28日に発表された15人の文化功労者のお一人となり、11月4日に東京都内で開かれた顕彰式に出席。「スポーツ界の発展のために、もっとがんばっていききたい」との談話が報じられています。オリンピック4大会をはじめとする体操選手としてのご活躍や指導者としてのご尽力に敬意を表し、お祝い申し上げます。

東京同窓会会報では、小野喬さんと小林肇さん(第29期)の対談を2009年(平成21年)の第19号に4ページにわたり掲載しました。新しい会員のみなさんなどまだご覧になっていない方は、この機会にぜひお読みください。会報は東京同窓会ホームページでもご覧になれます。



総会・懇親会の会場前で受付中。



平成28年度東京同窓会総会でごあいさついただいた本校の同窓会会長・森田新一郎さん(第40期)。

恩 師 に 聞 く

40年後の今も忘れ難い 卒業生の面影

大山 行夫 先生

1964年4月から通算27年間、能代高校に在職された国語科の大山行夫先生にご寄稿いただきました。先生が卒業式に贈ってくれた言葉が「鳥瞰」でした。



昭和39年の4月、私は能代高校に赴任。昭和32年に大学を卒業して大館鳳鳴高校で任用後7年を経ての初転任であった。私の能代高校での在職期間は、満60歳の定年後の非常勤講師を含めて通算27年に及ぶ。

能代高校での私は、学級担任として卒業生を4回送り出したが、その4回目の学担任に決まったとき、私は自分の年齢からして、恐らくこれが最後の自分のクラスとなるだろうと思った。実際、その通りになったので、そのクラス(昭和53年3月卒業の3年G組)の男子43名に女子10名の面々は忘れ難い。

彼らが巣立ってからすでに40年近い歳月が流れたが、出席番号1番の石井義信君から53番の山崎陽子さんまで、彼らの高校生の面影は今も私の脳裏に焼き付いている。

5月の下旬、その中の一人、北林蒔子さんから大型の封筒が届いた。それには、能代高校東京同窓会誌22号と26号が同封されていて、次に発行される同誌への私の寄稿依頼の手紙があった。高齢になって何かと億劫になっていた私は、断りたくなったのだが、それでは北林さんに申し訳ないと思ひ直し、こうして原稿に向かっている。

彼女の顔を思い浮かべているうちに、当時の卒業アルバムを開いてみる気になった。アルバムの中の写真は、たちまちにして当時の思いに至らせた。その中から二つだけ拾い上げて書いてみたい。

●強烈な印象が残る樽子山の校舎

能代高校着任の第一印象は、粗悪な資材で建て

られた木造校舎。みすぼらしさが目立った。恐らくは戦中の乏しい予算、在り合わせの資材で建てられた校舎だったろう。

中でも、忘れられないのは、教室や校舎の窓ガラス。美濃判のガラスには、「能中」の磨り文字が。これは、恐らく盗難よけだったろう。当時の資材不足がしのばれる。何枚かの断ち屑のガラスをいくつか寄せ集めて一枚の美濃判として使ったものまであった。戦中・戦後の物資の乏しかった時代の記念とも言える代物であった。他の学校では、絶対お目に掛かれないものと強烈な印象が残っている。

●風雪に耐え、春光に心洗われた高埜の通学路

昭和49年の2学期、能代高校は現在の地の高埜に新築移転した。3階建ての近代建築は人目を引いたが、当時はさながら田園の中の一軒家、何よりも不便だったのは、飲料水で、水筒持参の生徒が多かった。

数ある思い出の中でも特筆すべきものは、冬季の登下校時の難儀であろう。市内のバス停といっても、それは遠く、例えば養蚕のそれから徒歩となる。東能代駅からも勿論徒歩。自転車では無理な積雪の道。遮るものとならない、辺り一面の田園を吹き渡って襲いかかる地吹雪では難渋を極め、厳しい試練であった。

しかし、雪が消えた春光の通学路から見廻せた春光の情景は高埜の風物詩でもある。稲の子株から出た若芽と残り落穂を嘴むあまたの白鳥たちの際立つ白さには、誰もが足を停めて見入ったものだった。まさに絵のような田園風景で、心が洗われた。

能代高校は、県北有数の進学校であり、生徒も教師もともに努力していて、勉学にも部活にも精進を重ねていると自負できるすばらしい教育伝統校である。

縁あって能代高校に奉職できた私は、多くの先輩の先生方に助けられ、どうか一教師としての生涯を終えられそうで、八十路を迎えた今、良き教え子たちに恵まれた自分を幸せに思う。そして今でも、東能代・機織・仁井田・高埜の地名を耳にする度に、何かしら心躍る気がするし、樽子山の地名では、たまらない懐かしさというか郷愁を覚え、グラウンドの桜吹雪が目には浮かぶのである。

能 高 生 だ よ り

全員で最高の能高祭へ

生徒会長 東海林 慶一

最高学年としての自覚と責任が増し、日々能代高校の伝統の重みを感じております。生徒会長である以上、周囲の方々の期待に応えられるように精進する毎日です。

さて、昨今、現代の若者は積極性、主体性に欠ける、という話をよく耳にします。私は以前、本校OBでもある先生にも「あなたの生徒会にはあなたらしさが見られない」、「ただ仕事をこなしているだけだ」と厳しいご指摘を受けたこともあります。私も含め、今の若者にはハングリー精神や、反骨精神が欠けているのは確かです。そしてそれは、能高生も例外ではない、私はそう考えていました。

しかし、私は能高祭の準備をきっかけに考えを改めました。生徒会室で作業をしていると、毎日学年を問わず様々な生徒が質問やお願いに来ます。また、部門長と交渉を行うクラスもあり、一時関係がやや悪化した場面もありました。関係がぎくしゃくすることはあまり良いことではないかもしれませんが、それよりも私は、そのクラスの能高祭にかけける情熱に心打たれました。また、クラスが団結し活気あふれる様子も感じ取ることができました。今年の能高祭も大成功となるように能高生一同、一所懸命取り組みます。

能高生には、普段は見せないものの、いざという時の積極性と主体性が備わっています。OB、OGの皆様、能代高校の未来をどうか後輩である私達にお任せ下さい。そして、見守って下さいますようよろしくお願いします。



無事に終わった平成29年度の能高祭フィナーレ。能代高校生全員が一丸となって取り組んだ能高祭は、一生の思い出。

目標に挑み続ける心

剣道部 女子主将 津谷 幸穂

私は現在能代高校の3年生です。今回この会報に原稿を寄せるにあたって、私の学校生活について紹介したいと思います。

私は北秋田市から通っています。この学年は例年になく、私も含めて大館市方面や秋田市方面から通う生徒が多いように思います。様々な地域から様々な仲間が、各々の目標を達成するために能代高校へと入学しました。



平成29年度剣道全県総体の団体2位表彰式。剣道で経験した全てが、次へ向かう心と仲間との絆を強くした。

私が特に熱心に取り組んでいるのは剣道です。中学生の時に大会で、能代高校の先輩方が戦っている姿を見て、自分も先輩方のように強くなりたいと思い、剣道部への入部を決意しました。毎日の稽古も部員全員で盛り上げ、悪いところを指摘し合いながら、辛いことも乗り越えてきました。そして掴んだ女子団体での全国選抜大会出場は、取り組んできたことが形となった結果だと思えます。全国大会出場のおかげで選ばれた、魁星旗全国剣道大会での選手宣誓も、先生方に指導していただき無事に成し遂げることができました。インターハイ出場を目指して臨んだ全県総体では、決勝戦で先鋒である私が、試合中にアキレス腱を切って負けてしまい、準優勝に終わりました。主将として、とても残念な結果でしたが、最高の先生と最高の仲間恵まれたと思えます。

今まで剣道に力を入れていた分、今度は学業面で仲間と切磋琢磨して、進路達成という新たな目標に向けて頑張っていきたいと思えます。

平成29年度 能代高校東京同窓会総会・懇親会のご案内

【日時】平成29年10月7日(土)

受付 12:00～
 総会 12:20～
 講演会/演奏会 13:00～
 懇親会 13:30～16:00

【年会費】2,000円

- *年会費は一昨年から2,000円に値下げ
- *世帯制割引:夫婦そろって同窓生の場合は一世帯2,000円
- *2017年新卒者特例:1,000円

【懇親会費】男性7,000円 女性6,000円

- *割引制度や特例があります(下段参照)。
- *3階・会場前の受付で会費・懇親会費をお預かりします。

【出欠】インターネットをお使いの場合は、できるだけ東京同窓会ホームページからお申し込みください。

<http://shoryokenji.web.fc2.com/>

同封のはがきは9月29日(金)までに投函ください。

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

JR/地下鉄(有楽町線、南北線、都営新宿線)
 市ヶ谷駅より徒歩3分
 千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-9921
<http://www.arcadia-jp.org/>



◆オンラインによる諸手続きのお願い

東京同窓会では経費削減の一環として、諸手続きのオンライン化を導入しております。皆様のご協力をお願いします。

①同窓会・懇親会への出欠届け、会員の方の変更届け等入力方法:東京同窓会HPのトップページの左端の「住所変更・新規登録」をクリック/タップし「入力フォーム」に記入してください。

<http://form1.fc2.com/form/?id=784024>

住所やメールアドレスの変更があったときは、必ず事務局までお知らせください。そのままですと会報誌や総会案内などが届かなくなります。インターネットをお使いでない場合はFAX(03-6411-7945)や回答はがきでお知らせをお願いします。

②同窓会出席者向けのアンケート

今後の会の運営の参考にします。

<http://form1.fc2.com/form/?id=800917>

◆住所変更の届けをお願いします!

*会報は3年の間に1回でも「総会に出席した人」「会費の納入があった人」「回答を返信した人(出欠問わず)」に発送しております。

*3年間に一度も回答のない方は案内が届いていないと見なされます。

*同窓会案内に対して3年間連続して無回答の方は、会報誌発送から往復書による隔年案内または発送停止に切り替わります。個人情報保護の高まりからか、表札を掲げない人や郵便受けに名前を表示しない人が増え、移転により別の人が住んでいても郵便物等がそのまま配達され、会員の皆さんに届いていないケースが多くなってきたことからです。

講演会
演奏会

「リュートと私」

お話と演奏: 櫻田 亨さん(第53期)

弦楽器リュートとの出会いから今日に至るまでのお話と、演奏を披露していただきます。リュートは中世ヨーロッパで広く親しまれた古楽器で、ギターのように弦を弾いて奏でます。



《プロフィール》 さくらだ とおる

三種町(旧山本町)生まれ。山本中学校出身。能代高校時代はギター部に所属。卒業後、日本ギター専門学校でギターを学び、その後オランダ王立ハーグ音楽院でリュートを佐藤豊彦に師事。リュート以外にも撥弦楽器を幅広く演奏し、時代やその音楽にふさわしい使い分けをおこなっている。2017年発売の三重奏CD『ネーデルランドのリュート音楽』は『レコード芸術』誌の「特選盤」に選ばれる。リュート&アコースティックギターソサエティ・ジャパン事務局長。サクラダ音楽教室主宰。埼玉県越谷市在住。www.lutelute.com

【懇親会費の割引・特例】以下のとおり差し引きます(今年度より一部見直しています)

- 1) 初参加割引 総会・懇親会に初参加の同窓生は1,000円引 ★1、2、3は重複可
- 2) 若者割引 第66期生以降の同窓生は 1,000円引
- 3) 先輩割引 第31期以前の同窓生は 1,000円引
- 4) 新卒者特例 今年2017年に卒業した同窓生は無料(年会費の1,000円のみで参加できます)
- 5) 学生特例 同窓生で新卒以外の学生の方は 1,000円で参加できます(年齢不問)
- 6) 東京同窓会以外の能高同窓生、友人等は 懇親会費のみ(東京同窓会年会費は不要)
- 7) 家族の参加 同窓生の家族は 3,000円のお支払いで参加できます

★ちょっと健康が不安という方は家族の方と一緒に参加してください

★家族に同窓会の雰囲気を覚えてあげたい方も遠慮なくご同伴ください

★小学生以下は無料

平成28年度総会・懇親会の出席者(同年度会費納入者)

【23期】矢口裕(二中)【24期】山縣輝輔(二中)、今村宏司(一中)【25期】畠豊彦(一中)【27期】大村真陸郎(浜口)、
 樽森寛(鶴川)【29期】宮腰興紀(一中)、宮腰瑞夫(一中)、石川正順(森岳)、笹木廣澄(藤里)【30期】熊谷幸夫(一
 中)、檜山章一*(二中)【31期】馬場富男(二中)、柴田光夫*(二中)、熊谷博雄(二中)【32期】高谷誠(深浦)【34期】
 西川廣正(東雲)、米山満*(檜山)【35期】石山眞(二ツ井)、干場革治(八森)、金谷満郎*(浅内)【38期】菊地忠
 美*(東雲)、豊嶋誠(檜山)、佐藤能雅(東雲)、荒川久敏*(二中)、大塚健三(浅内〔愛知県より参加])【39期】菅
 原渉(下岩川)、大塚進(二中)【40期】小林哲(東能代)、小松文明*(一中)、敦賀照光(一中)【41期】小河範也(二
 中)、大久保英生(二中)、田中亨(響)、金子裕二(浜口)【43期】菊池忠夫(藤里)、福岡武(二ツ井)、高橋敦子(東
 能代、旧姓渡辺)、須藤正喜(八森)、納谷嘉彦(一中)【44期】庄内俊憲(八森)、森岡雅信*(二中)、佐藤伸(二ツ
 井)【45期】袴田邦夫(二中)、三浦洋(森岳)、鎌田泰宏(二中)、真崎裕(二中)、河田昌俊(一中)、能上慎也*(一
 中)、井上清起*(一中)、石塚互(東能代〔和歌山県より参加])【46期】石井喬(二中)、吉田真由美(一中、旧姓工藤)、
 秋林泰樹(二ツ井)、佐藤康准*(一中)【47期】野村一哉(二中)、越中谷真喜(一中)、山田肇(一中)、小林典雄(二中)、
 大川清士*(二中)、腰山達哉*(八森)、五十嵐和雄*(一中)、佐野輝彦(二中)【48期】佐藤美香子(二ツ井、旧姓
 中田)、佐藤剛*(二中)、野村松信(檜山〔秋田市より参加])、北林蒔子(一中)【49期】片谷浩之(二中)、近藤敏仁(下
 岩川)【50期】石井鉄美(一中)、大塚大*(一中)【51期】袴田亘(二中)、河田康史(檜山)【53期】梶原禎子(八竜)、
 工藤勉*(琴丘)【54期】佐藤篤規(二中)、佐藤周之*(一中)、齊藤伸一*(二中)、遠藤いぶき(東能代、旧姓畠山)
 【55期】淡路和子(一中)、嶋田久美子(常盤、旧姓工藤)、遠藤真奈美*(一中、旧姓佐野)【56期】部村由美子(鷹巣、
 旧姓長岐)、高島雪絵(合川、旧姓三浦)【66期】高橋弘志(二ツ井)、清水洋志(八竜)、安井士郎*(二ツ井)【67期】
 滝田祐作(一中)【68期】幸坂智子(能代南)、大塚さと子*(能代南)【79期】加藤源*(山本)

●同窓生出席者数 91名 ●東京同窓会以外の同窓生 3名 ●同窓生友人 1名

●*印は初参加者 23名 ●出身中学校名は卒業当時の校名

平成28年度総会 欠席しますと回答いただいた方と会費納入の方

【8期】#星信勝【15期】#吉田信一、杉本干門【19期】#小林肇、#大塚哲郎【20期】#小野喬、塩谷隆二【21期】
 金井惇、#信太吉右エ門【22期】田中克芳、村井克自【23期】清水良二、細田了平、山本一二【24期】#小山黎子、
 #木村信逸、#豊田誠、#蓮沼旬、松坂タカシ【25期】#佐々木胤磨、民谷恒二、小野純治、#町田次男、#工藤尊
 久、#那須秋男、#栗原俊一【26期】#佐々木高博、八柳昭義、#宮腰英彌、#板倉富弥、池内廣之、伊藤倫子、#畠
 山信孝、仙台嘉仁治【27期】#田中郁三、#斎藤秀夫、#山田邦夫、#後藤信義、野呂田徹義、佐藤齊、#石嶋喜直、
 #栗原優子【28期】#須田正巳、#穴山勝良、#石川輔宏、#宮腰義昭【29期】#藤沼正紀、佐藤英美恵、#嶋田雄右、
 #中田龍一、#山崎武、#塚本祝永、下間弘道、前谷孝臣、#鈴木元紀、加賀谷紀男、大越善蔵、#富岡重雄【30期】
 #石井拓夫、吉田廣英、熊谷洋一、宮腰七郎【31期】#小田幸雄、菊地宏道、長岡満夫、佐藤昭夫、岸部武彦、樽森
 隆【32期】#野呂田正一、吉岡良隆、#森田弘、笠原強、千田修、#田中正敏、高田政勝、#小高功【33期】#金田
 英成、堀内忠人、福田健作、#矢木信幸、清野勝子、清水靖子、戸松勇一、船山稔、渡部洋【34期】#斎藤彰悟、谷
 内五郎、#畠山昇、#長岡忠光、小松世和、石井伸明【35期】#金子永喜、恩田恒美、#耕修、#川添能夫、#加賀亮司、
 #横田眞理子、#平川徳道【36期】#深井学、#嶋田星子、#桜庭均、細田静夫、智田慎正、男鹿谷浩市、青木立子、
 本庄眞、大山剛、山本修【37期】#今野廣隆、坂田静子、袴田大蔵、小杉山久晴、#小野津世子、#若狭秀己、#辻
 敏、#加賀咲男【38期】#成田正廣、#戸松伸一、#福田満男、小熊雅人、#佐藤春香、畑沢鉄三、#松谷康雄、#伊
 藤陽一、赤塚剛、工藤巧、#酒田正克、#佐藤則男、#能登洋一、#袴田忠夫【39期】#持田訓、下坂節男、#土田一
 夫、#直嶋博明、茂呂忠良、諸沢隆一、#田村敏雄、#木村行雄【40期】#高橋博美、#熊澤朝子、田中寿弘、三浦
 和信、智田農、平澤知明、横田琢丸、納谷正彦、武田清悦【41期】#佐藤治、#成田忠幸、山谷和則、山谷敏文、正
 木修一、藤田久夫【42期】#工藤俊一、#佐藤行信、山柄一庫、島村務、平野秀俊【43期】#五代儀彦秀、#幸坂和
 彦、#石塚信一、#白木仁、高松芳則、工藤富雄、大山等【44期】武石栄伸、山崎友久、#三国昇一、宮城伸一郎【45
 期】平野信任、長江妥貴子、相澤正和、大塚雄蔵、港基樹【46期】齋藤昭義、神成嘉正、大塚晃、#齋藤靖雄、#清
 水文彦【47期】平川均、大坂吉行、#和平忠幸、吉田正剛、栗谷弘之、大久保昭佳、#鶴巻美弥子【48期】竹内勉、
 栗谷真由美、#小嶋覚、#淡路正則【49期】鎌田健二、金田亨、田村盛仁、大塚聡子、#松永京子、金井晴美【50期】
 #佐藤孝也、穴山敬悦【51期】#萬寶通子、池内史彦、#平塚征悦、#平塚佐智子【52期】若杉公子【53期】#吉田順、
 鈴木美千子【54期】佐藤弘孝、小山内恵樹、今佐都美【55期】#大山顕、#浅野敦志【57期】#北野美穂子、小坂
 涼子【58期】原田長政【59期】畠山真吾【60期】柴田真人【62期】#大高忠勉、能登裕克【66期】畠山幸【67期】
 小野立、柳谷真澄【74期】田中基成【78期】今西拓磨【83期】塚本柚美

●#印は会費納入の方 ●年会費世帯制の適用者 2組は2名の名前を掲載しました。

※このページは敬称を略しました。★欠席でも回答いただけると助かります。今年ぜひ参加してください。

平成28年度 総会・懇親会の報告

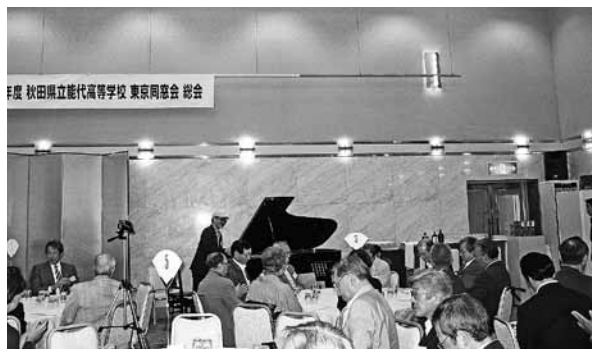
2016年の総会は10月1日(土)12時20分より、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷にて開催されました。約100名の会員の他、本校から校長の菊池一二三先生(第45期)と総務部主任の太田研先生(第50期)、森田新一郎同窓会長(第40期)、さらに恩師の高橋一成先生、小西(旧姓北川)和子先生、および来賓の方々を迎えて約120名が出席され、盛会のうちに終了しました。

総会では平成28年度活動報告・収支決算報告・監査報告、平成29年度活動方針案・予算案が審議され、いずれも可決承認されました。

引き続き、ピアニスト・作編曲家として活躍されている納谷嘉彦さん(第43期)によるトーク・ライブがベーシストの俵山昌之さんを加えて行われ、その軽妙なトークと華麗なピアノ演奏にみな聴き入りました。

総会の司会是高橋弘志さん(第66期)。その後、石井鉄美さん(第50期)、幸坂智子さん(第68期)の司会で懇親会に移り、有志(松陵クワイヤ)によるゴスペル版「秋田音頭」なども披露され、場内は大いに沸きかえりました。

最後に、清水洋志さん(第66期)のリードによる校歌斉唱で締めくくり、再会を誓って閉会しました。 **総会担当委員長 三浦洋(第45期)**



「サムライ Jazz を語る」

講演と演奏：納谷嘉彦さん



ベースの音が会場に響き始めた。そしてピアノが奏でる曲は「津軽海峡・冬景色」だ。

納谷:ジャズというテーマなのに、いきなり。「素材は何でもいいんです、ジャズは」。この曲が入ったアルバムをきょうは持ってきました。相方は、日本で一番すばらしいベーシスト、俵山昌之さんです。うちのかみさんより一緒にいる時間が長いです。

僕は能代市柳町で生まれました。きょうのタイトルは「サムライジャズ」。町人の息子が「サムライジャズ」はあり得ないかもしれませんが、日本人が持つ美しい心、ピュアな心に、ジャズが持つ不屈の精神をミックスして、「サムライ・ビバップ・トリオ」を始めました。

日本のメロディーとジャズのわくわくするリズムをミックスして、もう8年になります。ドラムスの大坂昌彦が横手市出身、俵山は東京生まれですがお父さんが新潟出身ということもあって「日本海トリオ」「荒波トリオ」とも呼ばれています。

きょうは、音を三つもらってメロディーをつくるという荒技をやってみましょう。ド・ミ・ソとかありませんか。

「アー」(女性の声)。「ラの音ですね」。「ミ」(男性)。「ソ」(女性)。

湯島で同窓生に会える店

ふぐ・季節料理

上野 きくち

通算43期(新制25期) **菊池 忠夫** 白神山地(藤里町)出身

↑至北千住

湯島中坂下交差点

ホテル朱鷺

ライオンズタワー

湯島駅6番出口

↓至天手町

黒門小学校

千代田線 **湯島駅6番出口**

徒歩1分

(大手町から北千住へ向かって最後方出口)

東京都台東区上野1-12-2

電田ビル 1F 〒110-0005

ご予約をおすすめします

03-3839-3382

納谷：ラ・ミ・ソ、意外と簡単なのがきましたね。「ラミソ」で音楽をつくりましょう。

「ラ・ミ・ソによる即興演奏」。アップテンポな軽快なリズムの曲が流れ始めた。

納谷：今の曲は、ブルースというジャズの形態なんです。

ところで、能代はスポーツが盛んな街ですね。そこで提案です。風の松原の中に屋外ステージができる広場があります。また、お寺が多い。屋外ステージをメイン会場に、お寺で落語や人形劇をやるなど総合的な文化イベントができないかと思っています。しかし地元でやってくれる人がいない。能代でやりたいミュージシャンや文化人はいっぱいいる。受け入れる人がほしい。文化で能代の街が発展できるのではないかと思っています。

「お・お・や・ま・の・し・ろ・う・さ・ぎ ぴよん・す・け・ぴよん」なんて遊びやっていますか。小さい頃、2B弾で遊んだり、都亭の裏は雨が降るとウナギが落ちてきたり。

その遊び歌からつくった曲です。「しろうさぎ」。

納谷：最後に、能代を思っにつくった曲を聞いてください。「マイ・ホーム・タウン」。

構成／河田康史(第51期)



懇親会ではCDの販売とサイン会が催され、さらにアンコールで演奏していただきました。



納谷嘉彦サムライ・ビバップ・トリオのアルバム『サムライ・ビバップ』(M&I Companyより発売)。「しろうさぎ」を収録。



コンピレーション・アルバム『アダルト・トイ・ボックス〜ジャズのおもちゃ箱』(おたまにあ・レコードより発売)。「津軽海峡・冬景色」「マイ・ホーム・タウン」を収録。



平成28年度まで校長をつとめた菊池一二三先生。入念にまとめた近況報告の資料をご用意のうえ、熱く語っていただきました。



懇親会は矢口裕さん(第23期)による乾杯の音頭で始まりました。

総会・講演会・懇親会・二次会の写真の一部は東京同窓会のホームページからご覧になれます。東京同窓会のブログやフェイスブックにもこちらからお入りください。

<http://shoryokenji.web.fc2.com/>

能代郷土料理・居酒屋

酒楽こてらんこ

藤岡洋子(能代北高卒)



〒110-0015
東京都台東区東上野1-19-2 第二鈴木ビル1F
☎ 03-6803-0239

・JR御徒町駅北口より歩いて5分
・日比谷線 仲御徒町駅3番出口より歩いて3分

◆定休日 土日祝(土曜日は予約のみ営業)

会 員 だ よ り

変わらぬ「松陵健児」の心

第68期 大塚 さと子

こんにちは。私は昨年10月の東京同窓会から出席し、今年からは本誌を作成する会報誌委員会にも参画させていただいております。実は、東京同窓会には大学1年の頃に一度だけ参加したことがあったのですが、その当時は新しい生活に慣れるのに手いっぱい、あまり同窓会というものを意識できていませんでした。ところが昨年参加してみて、「しまった、これは大学在学中からもっと参加していれば良かった…大変惜しいことをした！」という気持ちになったのです。東京を中心にさまざまな活躍をされている能代高校出身の先輩が実に大勢いらっしゃり、とてもフレンドリーに迎えてくれたからです。特に若い世代にとっては、東京での就職を考えるにしても、故郷のことを思うにしても、社会人として既に東京でやってこられている先輩たちと直にお話ができるというのは、これほど心強いことはないですよ。

「世代も違うし知らない人の方が多いのでは…」と心配される方もいるかもしれませんが、これが不思議なもので、校舎は樽子山から高城へ移っても、私たち松陵健児には、「至誠力行」「文武両道」の規範の中で培った共通の精神があるからなのだと思いますが、話も自然と盛り上がり、会が終わる頃には全員で校歌を大合唱しています。昨

年会場となった東京のど真ん中にあるアルカディア市ヶ谷で、校歌を同窓生みんなで歌うことができたことはとても嬉しく、これこそが能代高校の歴史と伝統の証なのだと実感しました。

ちょうど私たちの世代になると、仕事面では中堅にさしかかって忙しくなったり、さらにご家族の都合などで多忙を極めたりする方も多いと思いますが、そんな時期だからこそ、ぜひ年に一度の同窓会に参加しましょう！

東京同窓会の醍醐味は、高校在学中は年代が違って会うことができなかった多くの諸先輩・後輩の皆さんが一堂に会し、互いに刺激を受け合いながら、楽しくこれからのことについて話したり活動したりできることです。きっと新たな交流も生まれる素晴らしい場となることでしょう。

また皆様とお会いできる日を楽しみにしております！



ようこそ！平成29年は23人の同窓生が総会に初めて参加してくれました。懇親会にて一言ずつ自己紹介。左から二人目が大塚さと子さん。



**NASA・JAXAと協働し
宇宙分野研究の最前線に**

日本の私立大学として初めてNASAと共同研究を行うなど、世界トップレベルの研究を実施。国際宇宙ステーションでの流星観測や超小型衛星開発など、幾多のプロジェクトが進行しています。

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Tel.047-478-0222 (入試広報課) 〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

国際宇宙ステーションからメテオカメラが撮影した関東の夜景

赤坂スペイン料理と手作り生ハムの店

CERVECERIA GRANVIA

〒107-0052
東京都港区赤坂 6-4-15
シティーマンション赤坂 101
Tel/Fax 03-6277-8621
mail kaneko@granvia.jp



秋田(田沢湖)生ハム工場 **グランビア生ハム工房**

〒014-1201
秋田県仙北市田沢湖生保内字下高野 71-149
Tel/Fax 0187-42-8356



昨年の会報「恩師に聞く」にご寄稿いただいた高橋一成先生(写真中央)が、野村一哉幹事長(右)の呼びかけにこたえて秋田市よりお越しくださいました。そして秋田高校時代の教え子でクラシック・ピアノ奏者の高田真生さん(左)が会報を見てこの総会・懇親会に参加し、先生と再会!



都内にお住まいの小西(旧姓北川)和子先生(写真手前)。第45期生を中心とした教え子たちと同じテーブルに着いて、懇親会中にスピーチしていただき、二次会にも参加してくださいました。

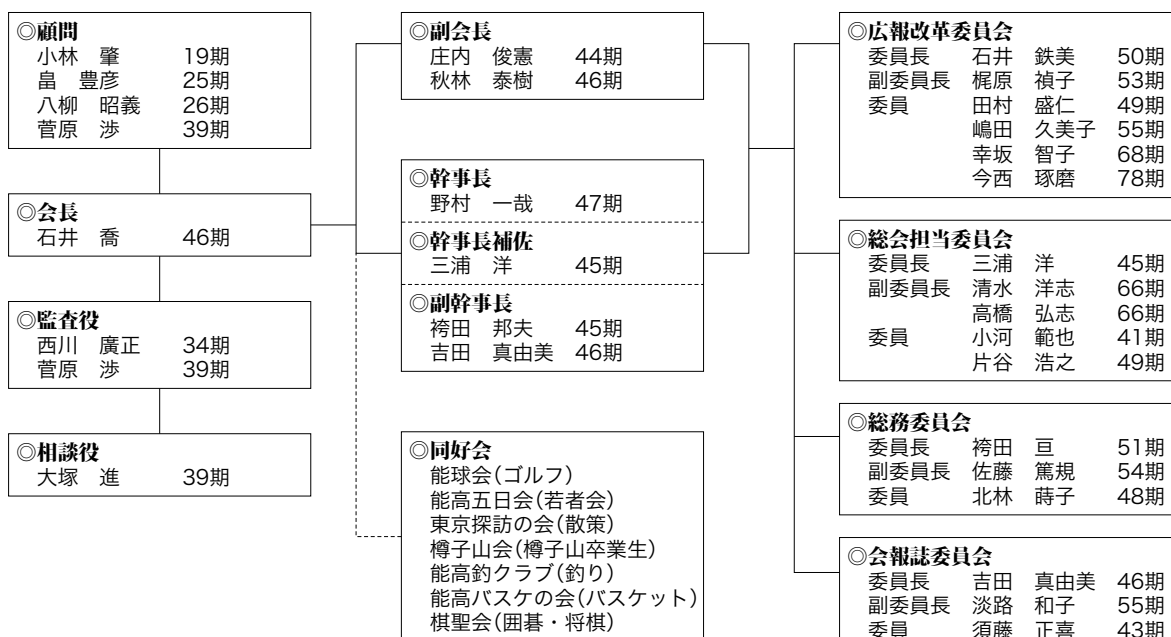


松陵クワイヤは今回もゴスペル歌唱を披露。指揮をしているのは指導の倉橋宇多子先生です。



白手袋を着用した清水洋志さん(写真左)は応援団の所作で校歌斉唱をリード。石塚亙さん(第45期)は「校歌を歌いたい!」という一心で和歌山県から駆けつけてくれました。

平成29年度 能代高校東京同窓会 幹事会 委員会 組織図



■委員以外の幹事の紹介

【24期】山縣輝輔【26期】畠山信孝【29期】宮腰興紀、石川正順【30期】熊谷幸夫【31期】馬場富男【32期】高谷誠【35期】干場革治、横田真理子【36期】深井学【38期】豊嶋誠、鈴木貞幸【39期】金野峻明、田村敏雄、諸沢隆一【43期】石塚信一【45期】大塚雄藏、真崎裕、加藤成【46期】斉藤靖雄【47期】和平忠幸【49期】今野泰則【51期】高橋俊博【53期】吉田順【56期】部村由美子【59期】棚橋さゆり【62期】大高忠勉【67期】小野立、小林祐子、滝田祐作【78期】籾内貴就

平成29年7月現在

樽子山会で小石川七福神めぐり

第31期 馬場 富男

3月8日、樽子山会は小石川七福神へ。平成7年に始まった比較的新しい七福神です。地下鉄丸ノ内線の茗荷谷駅と後樂園駅との間なので、ゆっくり歩いても2時間ぐらいのコースです。

茗荷谷駅を拓殖大学の方へ坂を下りましょう。大学の前に深光寺があり、本堂の前に恵比寿様が祭られています。本堂の左手には、南総里見八犬伝などでおなじみの滝沢馬琴のお墓もあります。

深光寺を出て藤坂を上り春日通りに出て、すぐ左手に徳雲寺があります。左側の六角堂に弁財天が祭られています。こちらの弁財様はとぐろを巻いた蛇で、顔は男顔でした。

徳雲寺を出て、播磨坂を左に下り、「播磨坂桜並木」の交差点を右折して吹上坂を左折すると、マンションの庭への入り口が見えます。ここに入ると、すぐに「極楽水(この下)」という看板があります。この祠が、極楽水の弁財天です。こちらは白蛇で、七福神唯一の女性の神様です。

極楽水のあるマンションの隣が宗慶寺です。宗慶寺を出て、春日通りのほうへもどり、エーザイの前の交差点を左折します。比較的広い交差を右折すると真珠院に着きます。本堂右手の階段を上ったところのお堂に、小さな木彫の布袋様が祭られています。さらに本堂下の通路を抜けると裏手が墓地になっていて、大きな布袋様の石像があります。

真珠院を出て右手に歩くと、伝通院の大きな本堂が見えます。道なりに行くと伝通院の正面に出

ます。伝通院参道に出たら右手すぐが福聚院。幼稚園を横切るとお寺の本堂があります。鎌倉時代の作といわれる御本尊の大黒天は文京区の有形文化財に指定されています。本堂の真向かい、幼稚園の敷地に面した所にも大黒天が祭られています。

えんま通りに出てまもなく源覚寺に着きます。ここはこんにやく閻魔として知られています。ある老婆が眼病治癒の願を閻魔にかけたところ、閻魔がその右目を犠牲にして老婆の眼病を治したと夢枕に立ち、眼が治ったので、老婆の好物のこんにやくを断って供えたというものです。毘沙門堂に木造の立派な毘沙門天が祭られています。

水道橋方面に歩き、春日通りを渡って東京ドームのデッキに上ります。22番ゲート前、総合案内所の裏手の一段高くなったところに福祿寿が祭られています。この福祿寿は、昔は小石川後樂園に祭られていたのですが、お正月には後樂園が閉園してしまうことから、東京ドームシティに祭られることになったそうです。その後、恒例の反省会を5人で開催して、元気に散会。



宗慶寺にて。中に入ると、延命長寿の神様、寿老人が祭られている。

ふるさと自慢が過ぎる店

LPガス・酒・たばこ・じゅんさい鍋




TEL : 0185-83-3700
FAX : 0185-83-3701
山本郡三種町豊岡金田字豊岡198

(有)サンクラ
三蔵商店

第51期 三浦基英
<http://sankura.com>

ライフ・イノベーション

株式会社 **たたみ無双**

代表取締役 **佐藤 茂** (51期生)

東京都東大和市中央1-12-3

フリーダイヤル **0120-870-630**

検索⇒ たたみ無双

tatamimusou@gmail.com

バスケットの街能代は…… 「能高バスケットの会」って何？

第51期 袴田 亘

能代といえば、古くは「木材の街」、今は「バスケットの街」ではないでしょうか。そんな「バスケットの街」で生まれ育ち、母校でバスケットボール部に所属していた私が発起人となり、「能高バスケットの会」なるサークルを2010年5月にスタートしました。

昨今の秋田に関するバスケットの話題としては、全国制覇58回を誇る能代工業が48年ぶりに秋田県内で敗戦、能代カップ2年連続全敗で最下位。ハピネットB1からB2降格といったネガティブな話題が多い中、密かに母校のバスケット部の活躍に期待しているしだいです。

サークルの主な活動は、①能代で毎年1月第4週土曜日に開催されるOB・OG会への参加、②能代カップ、ウインターカップ、Bリーグ観戦(能代工業、秋田ノーザンハピネットの応援)、③その他、懇親会や練習試合等ですが、③は実行できておりません。

今後の活動の継続については、片谷会長(第49期)と相談中ですが、会報をご覧いただいた同窓生で、是非参加したいという方は一声かけてください。



2017年1月、能代高校バスケットボール部OB会出席のため帰省した際に、能代駅にて撮影。選手の写真パネルのほか、顔出しパネルも設置されている。

東京同窓会の同好会

東京同窓会には、同窓生の親睦のために以下の同好会があります。これらの会に連絡を取りたい人、新たな同好会の提案や希望がある人はご連絡ください。事務局メールアドレス：

headoffice@toplinesfaccess.jp

◇棋聖会

活動内容：囲碁・将棋の同好会です。年に3～4回程度、土日・午後の開催を予定しています。

代表者：石川正順(第29期)

◇能高五日会

活動内容：2006年1月5日に設立した同窓生の青年部。若手同窓生たち(第45期より下)の親睦と交流を目的にした懇親会です。各季節に1回を目処に開催予定。

代表者：清水洋志(第66期)

◇樽子山会

活動内容：樽子山を卒業した世代が各期を越えて参集し懇談します。元気な70歳代の楽しい寄り集まり会にしたいと思います。

代表者：熊谷幸夫(第30期)

◇能球会

活動内容：年2～3回、東京近郊のコースでゴルフを楽しみます。今年4月には木更津カントリークラブで懇親ラウンドを実施しました。

代表者：石井鉄美(第50期)

◇能高釣クラブ

活動内容：自然を満喫しながら溪流釣を楽しみ、昼はバーベキュー、夕方は温泉で疲れを癒します。

代表者：小河範也(第41期)

◇東京探訪の会

活動内容：年2回(予定)、日常あまり触れることのない「東京」を訪ね、約2時間のコースを散策します。東京同窓会ブログに報告を掲載。次回は20回記念です。

代表者：吉田真由美(第46期)

◇能高バスケットの会

活動内容：能代カップやウインターカップ、Bリーグ観戦、本校バスケットボール部やOB会との交流などによる情報交換をしています。東京同窓会ホームページに報告を掲載。

代表者：片谷浩之(第49期)

平成29年度(2017年)収支決算報告書(平成28年8月1日~平成29年7月31日)

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
總會収入	750,000	665,000	總會費	1,075,000	930,062
会費収入	400,000	386,000	組織拡張費	10,100	0
雑収入	125,150	73,506	一般管理費	190,050	94,181
当期収入合計	1,275,150	1,124,506	当期支出合計	1,275,150	1,024,243
			当期収支	0	100,263
			前年度繰越金	964,103	964,103
			翌年度繰越金	964,103	1,064,366

■同年度の収入には下記の方々からのご寄付、および総会で販売したCDの購入者からの釣銭寄付が含まれています。
 【19期】大塚哲郎 【24期】山縣輝輔 【43期】菊池忠夫 【恩師】高橋一成
 ★紙面の都合で簡易版を掲載しました。総会資料、東京同窓会ホームページでは詳細をご覧ください。

会報はホームページでも公開中

東京同窓会の会報は第1号からすべてホームページでもPDFで公開しています。お手もとにない号は、東京同窓会のトップページから「会報」の項を選んでご参照ください。第15号以前は誌面からのPDF化のため少し読みにくくなっていますが、何卒ご了承ください。
<http://shoryokenji.web.fc2.com/>

年会費納入のお願い

会報の印刷代、送料、総会開催に係る費用などは、会員の皆さまからの年会費でまかなわれています。納入にご協力のほどよろしくお願いいたします。
 ▼一昨年から年会費を2,000円に値下げしました。
 ▼銀行振込も利用できます。
 郵便払込、銀行振込の口座番号は下記奥付のとおりです。

つなごう、未来へ。



国士館大学

国士館100年祭

国士館から皆さまへ、
100年分の感謝をこめて。

10.27 FRI - 11.4 SAT
世田谷・町田・多摩 3キャンパスで同時開催!

学校法人国士館
2017年創立100周年

世田谷キャンパス | 〒158-8545 東京都世田谷区世田谷 4-10-1
町田キャンパス | 〒195-0200 東京都町田市原町田 1-1-1
多摩キャンパス | 〒206-8585 東京都多摩市東山 1-2-1
<http://www.kokugakuen.ac.jp/100th/>



秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

美術を超えて、
社会に繋がる。

秋田公立美術大学は、
キャリアに繋がる基礎として、
技術、歴史、伝統を重視します。
そして、新しい美大として、
新しい美術・デザインによる
社会への還元の色を
探っています。
その過程で学生は
旧来の美術教育にはない
多くのことを学び
その活躍の場を
社会に見出していきます。

〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3
Tel: 018-888-8105 www.akibi.ac.jp

松陵健児

能代高校東京同窓会 会報 第27号
 発行日 平成29年9月1日
 発行 能代高校東京同窓会
 発行責任者 石井 喬
 編集 会報誌委員会
 印刷 株式会社 毎栄

■能代高校東京同窓会事務局
 〒157-0076
 世田谷区岡本 1-33-12 ビュー加賀見 305
 (株) トップラインズファクセス内
 電話 03-6411-7955
 FAX 03-6411-7945

■年会費振込先
 ●郵便払込口座番号 00150-7-27459
 加入者名 能代高校東京同窓会
 ●ゆうちょ銀行 018 (ゼロイチハチ) 支店
 普通預金 5914261
 名義 能代高校東京同窓会